

研究だより

1 第9回 研究授業より学んだこと

（令和4年10月26日（水）6校時 第4学年「面積」 授業者 三戸部 由幸 教諭）

【協議会より】

①子どもの問いを生かす手立てについて

- ・予習からめあてにつなげることができていた。
- ・先生の温かい声かけがよかった。
- ・気になる児童がいる場合でも机間指導をして全体を見ることが大切である。
- ・子どもたちから考えが出ない場合は、ペアトークを入れるなどして引き出すとよい。
- ・どの部分の説明か分かるように、分けた図にそれぞれ番号をふると、図と式を結び付けることができる。また、必要な数字は図に書き込むようにする。
- ・「まとめ」はわかりやすく簡単な言葉にするとよい。



②タブレットを活用した児童同士の意見交流を深める学習展開について

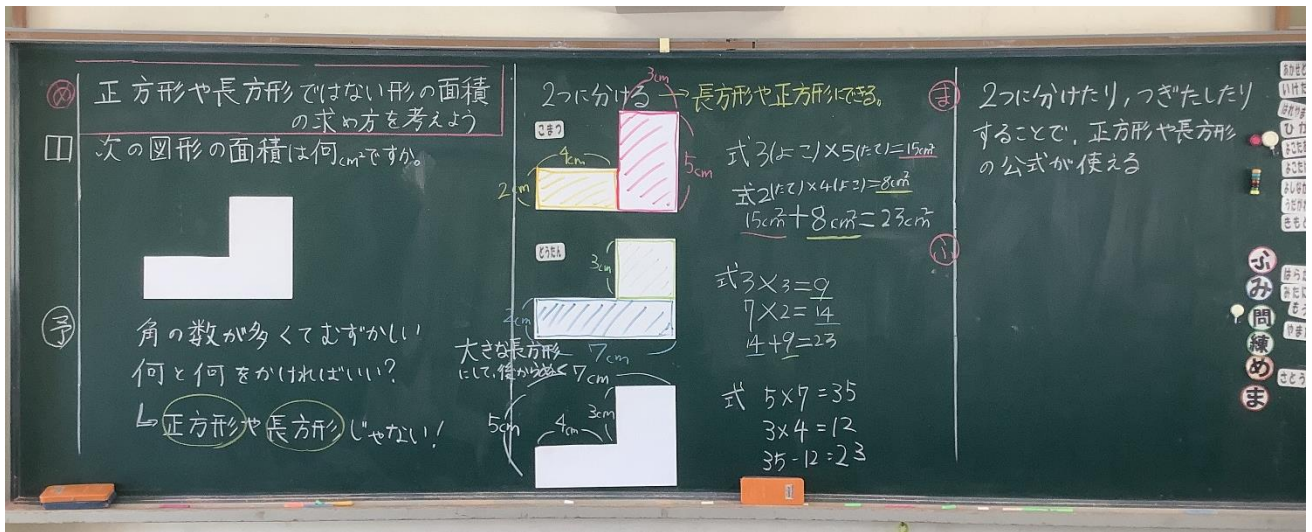
- ・子どもが説明を頑張る姿がとてもよかった。
- ・予習のノートをロイロノートに取り込んでテレビで映したらよかった。
- ・長方形を切り取る考え方は、長さが分かりにくかったので視覚支援が大切。



【指導助言】（山田校長先生）

- ・45分間集中して子どもたちが学習していた。ノートの文字も丁寧でペアトークも一生懸命取り組んでいた。
- ・導入は、予習からめあてにつなげることができていてよかった。分からないことを分からないと堂々と言えるのがよい。
- ・教師が「できそう？」「難しい？」と子どもに聞くと正解を言うのが怖くなる児童もいるのではないかと。「やってみよう。がんばろう。間違えても大丈夫」という声かけが大切である。
- ・本時は、正方形や長方形を使って求めたいので、「どんな分け方ができるか。」「どこに補助線を入れたらよいか。」が分かればよい。ワークシートを使い、「分け方を3つ考えて。」と投げかけ図に補助線を入れさせたら良かった。もっともっと、子どもにチャレンジさせたい。
- ・ワークシートなど、これだったら子どもが分かるというものを準備することが大切である。
- ・教科書では、長方形の公式は「横×たて」でもよいと示されているが、掲示するなどして、基本の公式や算数用語は正しくおさえる必要がある。
- ・図形は、どの部分の説明か分かりにくくので、ア、イなどの記号を割り振るとよい。

- ・長方形から切り取るやり方では、タブレットを活用して動画を見せて理解させるという方法もあった。
- ・子どもの説明で終わらず、教師が大事なことをもう一押しすることが大切である。



2 成果と課題について

本年度の授業研究について、1月初旬（3学期最初）までに成果と課題をまとめ起案してください。枠を用意しますので、協議会記録や研究だよりを参考にしてつくってください。持ち寄って、2月の小中合同研修で発表します。